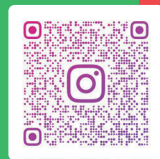


Rehabilitation



IMS<イムス>グループ 医療法人財団 明理会

鶴川サナトリウム病院

高齢化・複合疾患時代に挑む

～ 知識も技術も人間力も、共に磨く ～

当院は、東京都町田市に位置し、長年にわたり「東京都指定認知症疾患医療センター」として、認知症医療を中心に地域医療を支えてきました。

しかし、地域の高齢化が進む中で、認知症だけでなく、身体合併症や急な病気・ケガへの対応、そして自宅や施設へのスムーズな退院支援まで、一貫した医療を求める声が年々大きくなっています。

そうしたニーズに応えるため、2024年5月に一般病棟、同年8月に回復期リハビリテーション病棟を新設し、これまでの維持期・難病・精神科・認知症に加え、リハビリテーション医療のフィールドを大きく広げました。

これからの医療現場では、「高齢化・複合疾患時代のリハビリ」を実践できる力が求められます。当院では、幅広い疾患・病期を経験しながら、知識も技術も人間力も、ここでしっかり身につけていきます。

さらに、東京都指定認知症疾患医療センターならではの認知症ケアについても、現場で学びながらスキルアップできるのが大きな特徴です。

「リハビリ職として、幅広い力を身につけたい」「患者さまにしっかり向き合える現場で働きたい」という方にはピッタリの職場です。

患者さまの笑顔を引き出し、「この病院に来てよかった」「このセラピストに担当してもらえてよかった」と思ってもらえる病院を、ぜひ一緒につくっていきましょう！

技士長 三富 佑哉



理念

患者さまの可能性を信じ、力をひとつに、時代の変化に挑み続ける

Mission

患者さま中心の視点と専門性を活かし、安心・安全で誠実なリハビリテーションを提供する

Vision

知識・技術・人間力を磨き、「高齢化・複合疾患時代のリハビリに対応できる力」を身につけ、町田市鶴川地区・町田地区を中心とした選ばれるリハビリテーション科を目指す

Value

- ①患者中心の価値提供
- ②誠実かつ公正な医療サービス
- ③専門性の最大活用
- ④目標志向と努力
- ⑤働きやすい環境の構築

病院概要 / 施設基準

開設 昭和 48 年 12 月 13 日

理事長 中村 哲也

院長 林 重光

病床数 587 床

診療科目 内科 / 老年内科、精神科 / 老年精神科
リハビリテーション科

認知症治療病棟 116 床

認知症身体合併症治療病棟 148 床

医療療養病棟 139 床

障害者施設等病棟 81 床

一般病棟 43 床

回復期リハビリテーション病棟 60 床

疾患別リハビリテーション
(脳血管 I、廃用 I、運動器 I、呼吸器 I)
認知症患者リハビリテーション
精神科作業療法
通所・訪問リハビリテーション
精神科ショートケア



高齢者医療のプロフェッショナルとして

東京都指定 認知症疾患医療センター

もの忘れ外来の設置、認知症の鑑別診断、専門医療相談、各医療機関との連携など、認知症の方を地域で支えるための支援を行っています。

病院機能評価 認定病院

院内、地域のニーズに応じた通所リハビリテーションの提供と、MCI デイケア開設が高く評価され、リハビリテーション部門が「S 評価」となりました。

病棟紹介



C2 C4

認知症治療病棟

116床

医学的治療や生活機能の向上に向けたアプローチなどの集中的ケアを行ない病状の安定を目指します。



C3 S3 S7

認知症身体合併症治療病棟

148床

認知症による精神症状や行動障害、身体的疾患を合併された方に対し、認知症治療と身体的な治療を併せて行なっています。



N4 N5 C6

医療療養病棟

139床

急性期医療治療後も引き続き医療提供の必要性が高い方に、継続的に医療的な管理や看護ケアの提供を行なっています。



N6 N7

障害者施設等病棟

81床

長期に渡り適切な治療やケアを提供し、人工呼吸器管理を必要とされる方をはじめ、さまざまな病態にも対応可能です。



N3

一般病棟

43床

主に、高齢者の内科疾患に対する治療やリハビリを提供し、退院支援を行ないます。



C5

回復期リハビリテーション病棟

60床

集中的なリハビリテーションを提供し、元の生活に戻れるよう多くの専門職の介入により支援します。

自然と都会の程よい距離感

周辺環境



電車でのアクセス

新宿.....約 35 分	東京.....約 40 分
渋谷.....約 35 分	お台場.....約 60 分
原宿.....約 37 分	南町田グランベリーパーク.....約 15 分
羽田空港.....約 70 分	ディズニーランド.....約 85 分

▶▶▶ まちだ はこんな まちだ ◀◀◀

東京都から半島状に飛び出していて、神奈川県にぐらりと囲まれているのが町田市です。市内には大学や専門学校なども多いため、町田駅周辺はとても栄えています。当院がある小田急線「鶴川駅」は電車なら都心から 30 分程度でアクセス可能でありながら、町田市の中でも歴史や自然を感じられる町です。



HOT
スポット

▶ 南町田グランベリーパーク

約 22 ヘクタールの敷地に、ファッションや雑貨など計 241 店舗のほか、ピクニックやスポーツなどが楽しめる公園もあります

リハビリテーション科について



総勢
76名

理学療法士

36名

言語聴覚士

6名

作業療法士

34名

リハ助手・事務

4名

令和7年5月現在

年齢分布

平均年齢
31歳

1番多い年齢層は20代です

経験年数

脂が乗ってきています
6年

他病院からの異動者も多く経験値もある世代が多い環境です

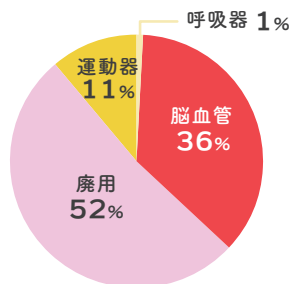
男女比率

男性 女性
ほぼ **1:1**

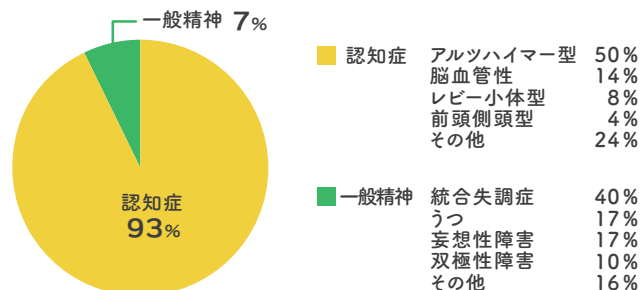
最近では男性が増加傾向です

【対象疾患】

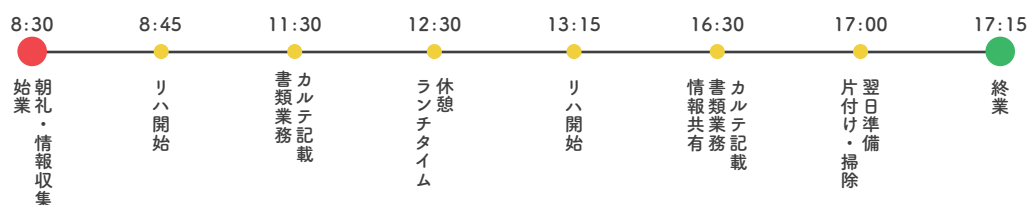
疾患別リハ/PT・OT・ST



精神科OT



【一日の流れ】



教育体制について



セラピストは「資格を取得すれば終わり」ではありません。医学的な知見は日々進歩し、リハビリを効率よく進めるためには、新たな知見に触れ自身の知識を更新し続ける必要があります。当院では、あなたが（すべきこと）・（できること）・（したいこと）を、先輩と一緒に考え、学び、なりたい自分に向かって行動する人を全力でバックアップします。

新人教育

- ・プリセプター制度（1年間）
- ・教育ラダー使用
- ・個人面談（1回/月）
- ・PT/OT/ST 合同勉強会（1回/月）
 - ・起居、基本動作、トランスファー
 - ・ポジショニング、シーティング
 - ・ユマニチュード、バリデーション
 - ・嚥下 等
- ・症例発表（3回/年）
- ・OSCE（OT・ST）

スタッフ教育

- ・各種勉強会（チーム・部門・科）
- ・精神科医師、外部の神経内科Drによる勉強会
- ・院内勉強会（認知症・精神関連・BLS研修）
- ・吸引研修
- ・リスク管理研修
- ・役職者研修 等



精神科医師勉強会



新人勉強会



外部事業者による体験会



OSCE

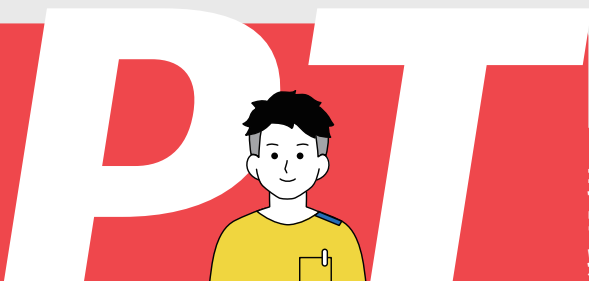


イムスグループリハビリ部門 臨床支援
（月1日）



新人教育

高齢者に対する理学療法では、それぞれの健康状態や障害に合わせた対応が必要です。患者さまの意見や感情に耳を傾け、敬意を持って接することが基本です。その中で、理学療法士としての専門的な知識と技術を活かして、患者さまの健康と生活の質の向上を目指しましょう。



Mission



01 個々のニーズを把握する 02 臨床を通じて成長する 03 チーム医療を意識する



2019年度卒

精神科PTの 存在価値を上げる

実習中にダメになりかけた僕を励まし、精神面を祖母というセラピストによって支えてもらった経験から、「心の病気を発症した方の力になりたい」と考え、精神科PTとして当院へ入職しました。精神科のPTはまだ未開拓なことが多いですが、これから学会発表等を行い、精神科に理学療法士が携わる意義を伝えられるようなセラピストになりたいと考えています。

よくある質問

1人あたり担当患者数は何人ですか？

約15名を担当しています。患者さまによって、毎日リハビリを行う方と週3回の方がいらっしゃいます。

セラピストとして成長できる？

もちろんできます！
様々な病床機能があるので、様々な病態の患者さまと関わることが出来ます。希望を確認しながら成長に合わせたローテーションを実施しています。



2023年度卒

チームで 成長をサポート

この病院は本当に人が良い！看護師、介護士、リハビリスタッフ皆が優しく熱心です。1年目には個別の先輩がつき、治療相談から症例発表まで丁寧に指導してくれます。プライベートの交流もあり、良好な人間関係の中で仕事ができるのが魅力です。

学会などへの発表は積極的ですか？

IMSグループ内学会および外部学会にて、例年5〜6演題を発表しています。症例をまとめることはとても大切な作業です。発表の際は先輩がフォローも行っているため、若手のうちから積極的な参加を推奨しています。精神科の学会では、PTの発表が少ないのが現状ですが私たちは学会を通して、精神科PTの存在意義を証明していきたいと思っています。

精神と身障の両部門を有し、認知症を有している方や高齢者の患者さまに対し、精神・認知機能面から身体機能面まで幅広く評価・介入をしています。治療プログラムも手作業や机上訓練などの個別介入から小集団・集団活動と多岐に渡ります。患者さまの「その人らしさ」に合わせたリハを提供し、関わった方が人生に希望を見いだすきっかけづくりや、目標を再構築する機会を提供します。



Mission



01精神・身障スキルの獲得 02認知症のエキスパート 03生活をマネジメントする



2021年度卒

患者さまの自分らしさを引き出す

患者さまの趣味活動や生活動作の支援を行なう中で、患者さまが語られる背景や物語を大切にしています。長期で過ごからこそ、病院という生活の場を楽しみを持って過ごしていただけよう、患者さまご本人やご家族の希望に沿ったリハビリを提供していきたいと考えています。



2023年度卒

本人だけでなく家族にも寄り添う

介護職の経験から、患者さまの生活が豊かになるよう携わりたいと考え、認知症にも興味があり当院に入職しました。精神科OTとして、患者さまの時代背景、趣味、生きがい等を大切にしています。身体障害領域での業務も経験しながら、自己研鑽を積み、知識・技術を高めて行きます。

よくある質問

身障・精神の配属は希望制ですか？

基本的には本人の希望をもとに配属を決定しています。配属期間は年単位でも、1年など短期間でもOK。チーム状況をみながら可能な限り希望に沿ってローテーションをしています。身障・精神どちらのスタッフも在籍しているので、互いに相談したり、技術や評価を学べるのが大きなポイントです。

精神科作業療法のプログラムは何を行なっていますか？

体操・音楽・茶話会・回想法・化粧療法・書道・生け花・囲碁・将棋・麻雀・調理・笑いヨガ・園芸・手作業といったプログラムを実施しています。活動時間は毎日1回2時間、対象者数は10～40名程度です。1人1人の目的やニーズに合わせた認知症リハビリテーション(個別リハ)は週3回/人、20分/回で実施しています。

勉強会はいっ行っていますか？

リハ科の勉強会は、原則、17:15以降(終業後)となります。対象者に合わせ、評価法から介入方法の伝達、理論など、身障・精神部門問わず幅広く実施しています。強制参加ではなく、自己研鑽としての参加となりますので、都合が合わない場合は不参加でも問題ありません。

脳血管疾患と精神疾患を合併した患者さまが多い病院での言語聴覚士は、患者さまのコミュニケーションや嚥下機能回復に重要な役割を果たします。疾患によって損なわれた言語や認知機能のリハビリテーションを通じて、改善の手助けをします。特に、精神的な支援を含めたアプローチが求められ、患者さまの自尊心を保ちながらサポートする点が魅力です。



Mission



01 笑顔を引き出す

02 傾向摂取を目指す

03 誠実に対応する



2017年度卒

できた！の瞬間に
立ち会う

当院回復期病棟では、脳血管疾患や認知症を合併した患者さまが多く、言語聴覚士としても幅広い知識と技術が求められます。訓練を通じて、患者さまがご家族と食事や会話を楽めるようになることが何よりのやりがいです。「口から食べる」「コミュニケーションを楽しむ」を実現する支援を心がけています。

ライフイベントも
キャリアも諦めない

ライフイベントと仕事の両立は大変ですが、当院には同じ状況の仲間が多く、急な休みにも理解があるなど、フォロー体制が整っています。ライフイベントを経てもキャリアを諦めることなく、両立しながら活躍できる環境です。



2017年度卒

よくある質問

どのような人が向いている環境ですか？

患者さま1人ひとりと、じっくりと関係を築きたい方が向いています。

新人が1人で患者を受け持つまでの
期間はどのくらいですか？

入職後1ヶ月は主に見学や代診をして頂き、その後は1名の患者さまの担当から始めます。7月頃には10名程度を担当できるよう徐々に担当患者さまを増やしていきます。

主にどのような患者を担当しますか？

60歳以上の高齢者が多く、認知症や脳血管障害、嚥下障害の患者さまが中心です。また、当院には障害者病棟があり、パーキンソン病やALS等、神経難病の患者さまを経験することもできます。

スタッフの経験年数は？

1年目2人 8年目2人 16年目1人 20年目1人
経験豊富なSTが在籍しているので、幅広い知識を得ることが出来ます。少人数だからこそ経験年数に関係なくチームとして動けるように連携をとり支えあって業務にあたっています。

リハビリテーションを行うことの大きな目的は、「その人らしい生活」をふたたび送ることにあります。通所、訪問、地域での出張講座等へどんどん飛び出し、「その人らしい社会参加」をリハビリテーションで支援しています。通所や訪問の担当になるには、おおよそ3年以上の経験と地域の特色に関心があり、利用者さまのニーズに寄り添うことができれば担当になることができます。

訪問通所リハ 精神科ショート



市民公開講座



通所リハ



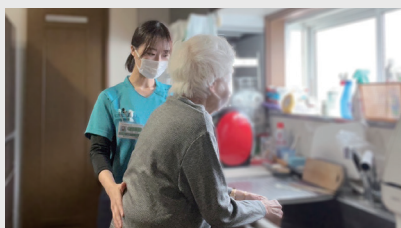
訪問リハ



町田市委託事業

IADL教室

作業療法士が健常者～要支援2の方に向けて、身体機能やIADL、認知機能などの評価を行います。



町トレ

町田を元気にするトレーニング

地域で活動する自主グループに対し、介護予防のための町田市オリジナルトレーニングを、理学療法士と作業療法士が講師として実施します。



住宅改修アドバイザー

町田市より依頼を受け、個人宅へお伺いし、手すりや段差設置などのアドバイスをを行います。



MCI軽度認知障害 トレーニングスタジオ ASMO あすも



軽度認知障害（MCI）と診断された方々がその改善・維持を目的に2022年に開設されたMCIトレーニングスタジオ。MCIの方を対象にした施設は全国でも非常に少ないため、メディアから取材を受ける等、注目度の高い取り組みです。当院では作業療法士が運営の中心となり、プログラム、評価を担当しています。



職員寮について

病院近隣のワンルームタイプの物件を中心に病院側がご用意をしています。一般のマンションやアパートなどを病院で借りているので、安心して生活できる環境です。

寮 費

約3万円

間取り

1K(1ルームタイプ) 全室個室・エアコン完備・キッチン・バストイレ別



YouTubeで公開中!



つるちゃん

検索

※職員寮はさまざまな種類があるため、上記写真の寮ではない場合がございます

卒業校一覧

北海道科学大学／仙台青葉学院短期大学／仙台医健・スポーツ&こども専門学校／仙台リハビリテーション専門学校／専門学校仙台総合医療大学校／岩手リハビリテーション学院／太田医療技術専門学校／了徳寺大学／東京工科大学／日本工学院専門学校／帝京平成大学(千葉キャンパス、池袋キャンパス)／帝京科学大学(東京西キャンパス)／東京医療学院大学／専門学校東京医療学院／東京家政大学／日本リハビリテーション専門学校／目白大学／日本保健医療大学／首都大学東京／首都医校／多摩リハビリテーション学院／多摩リハビリテーション学院専門学校／横浜リハビリテーション専門学校／横浜YMCA学院専門学校／茅ヶ崎リハビリテーション専門学校／神奈川県立保健福祉大学／関東リハビリテーション専門学校／杏林大学／八千代リハビリテーション学院／植草学園大学／新潟医療福祉大学／富山リハビリテーション医療福祉大学／平成医療短期大学／大阪人間科学大学／関西学研医療福祉学院／姫路医療専門学校／愛媛十全医療学院／福岡和白リハビリテーション専門学校／沖縄総合医療学院／琉球リハビリテーション学院

見学・お問合せ



042-737-7038



turusana-saiyou@ims.gr.jp (総務課人事担当)

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 / 土曜 9:00 ~ 12:00



IMS<イムス>グループ 医療法人財団 明理会

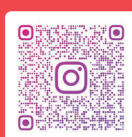
鶴川サナトリウム病院

〒195-0051 東京都町田市真光寺町 197

TEL 042-735-2222 FAX 042-737-2264

小田急線 鶴川駅・黒川駅 / 京王線 若葉台駅より無料送迎バス運行中

Follow me



病院見学会は
こちら



Reha bili tation

 IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会
鶴川サナトリウム病院